



第5章

財政収支の見通し

- 5－1 経営の状況
- 5－2 財政収支予測の目的、手順、算定条件
- 5－3 財政収支の見通し

第5章 財政収支の見通し

5-1 経営の状況

1) 組織体制

本市の水道事業及び簡易水道事業には、管理者を置かず、その権限は市長が行っており、水道事業管理者の権限に属する事務処理および管理・運営を行う職員を水道局、上下水道課に配置しています。水道局では、水道事業（上水道事業、各簡易水道事業）および工業用水道事業の運営を、水道局長の統括のもと、上下水道課長以下、庶務料金班（6名、料金徴収業務は民間委託）と、管理工務班（10名）の2班18名で行っています。

併せて、この体制で下水道事業の整備、運営にも取り組んでいます。

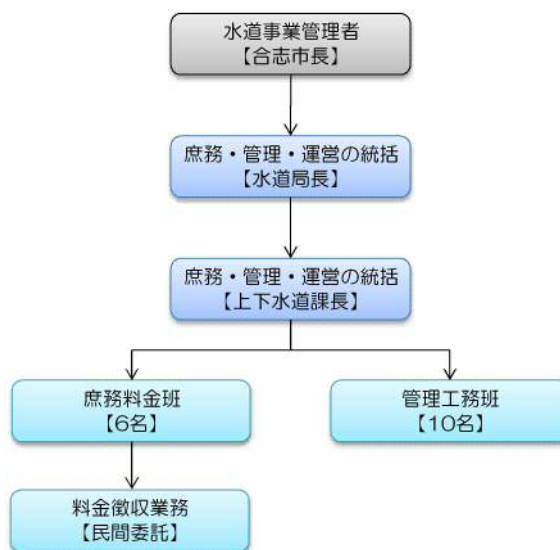
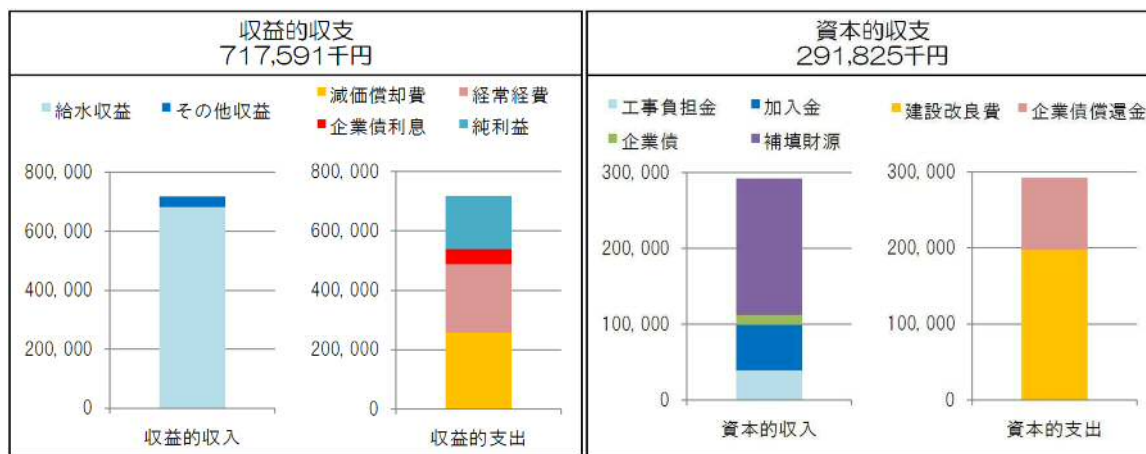


図 5-1-1 組織体制

2) 収支の概要

合志市では、地方公営企業会計で上水道事業および簡易水道事業を同一会計で運営しています。平成23年度の合志市水道事業会計の概要は、以下のとおりです。



※ 給水収益：水道料金としての収入額
 ※ 減価償却費：施設建設に備えるための費用
 ※ 経常経費：人件費や動力費、薬品費等
 ※ 収益的収支は、税抜きで表記しています。

※ 企業債利息：借入金の利息
 ※ 建設改良費：施設建設や改良の費用
 ※ 企業債償還金：借入金の元金
 ※ 資本的収支は、税込みで表記しています。

図 5-1-2 合志市水道事業会計（平成23年度決算）の状況

5-2 財政収支予測の目的、手順、算定条件

1) 財政収支予測の目的および算定期間

財政収支予測では、水道事業の経営が、中長期における施設整備（更新・拡張、高度化・耐震化）や老朽化施設の更新需要に耐えうるかどうか、長期的な財政収支の状況を検証します。推計期間は中長期的における経営状況を把握するため、計画目標年次を平成34年度とし、算定期間は10年としました。

2) 財政収支予測の手順

財政収支の手順は以下のとおりです。

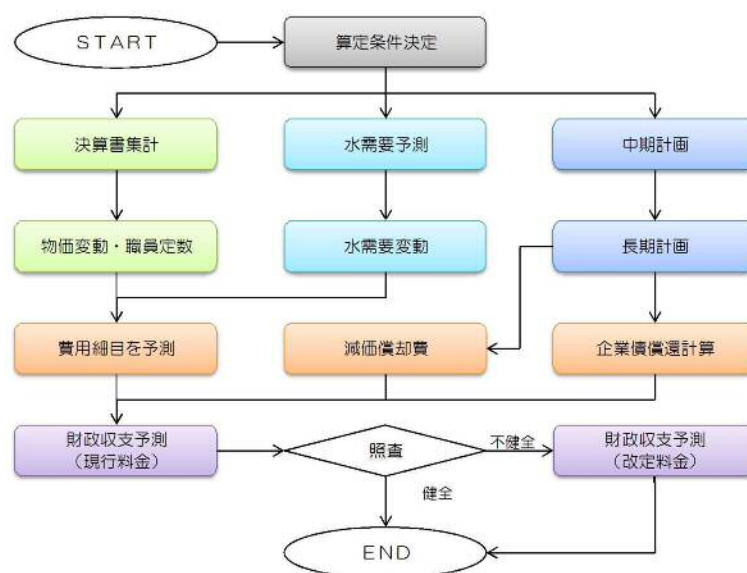


図 5-2-1 財政収支予測の手順

3) 算定条件

財政収支予測における算定条件は以下のとおりです。

● 新企業会計基準の適用

新会計基準適用の如何に関わらず、現金推移に影響はなく料金水準にも影響しないため、当該財政収支予測では、旧会計基準に準じて推計しました。

● 算定期間

推計の開始年次を平成25年度、目標年次を平成34年度とし、算定期間を10年間としました。

- **水需要予測と給水収益**

将来の有収水量の見込みは、水需要予測の結果に基づくとともに、給水収益は、水需要予測結果（有収水量）に供給単価（円/m³）を乗じて算定しました。

$$\text{給水収益（円）} = \text{年間有収水量（m}^3\text{）} \times \text{供給単価（円/m}^3\text{）}$$

- **建設改良計画**

建設改良年次計画は、施設の更新・拡張に要する費用、施設の高度化・耐震化に要する費用を計上しました。

平成 24 年度から平成 30 年度の中期計画では、御代志第 2 配水池整備事業、木原野配水池整備事業、弁天配水池整備事業、群配水池整備事業、竹迫簡易水道統合整備事業のほか、現在整備を進めている竹迫簡易水道再編推進事業の費用を計上しました。さらに、平成 31 年度以降は、長期計画として将来の更新需要費（管路：107,000 千円/年、施設：162,100 千円/年、合計 269,100 千円/年）を計上しました。

- **財源内訳**

財源内訳は、企業債・自己資金・工事負担金としました。なお、国庫補助金に關しましては、資本単価（受水分資本費を除く）が、平成 23 年度 55.77 円であり、補助採択基準の 90 円を超える見込みが低く、補助採択が確実でないことから、この収支予測では見込んでいません。

企業債借入金、建設改良費に対して、企業債借入率を設定し、これに乗じて算定しました。なお、企業債借入率は、資金総額が著しく減少しない水準で、かつ企業債残高が将来的に減少傾向となる割合（30.0%～20.0%）に設定しました。

- **減価償却費**

減価償却費は、既存施設（平成 23 年度までに取得した資産）の減価償却予定額に、新規取得施設（平成 24 年度以降に取得予定の資産）の減価償却額を合算して算定しました。

既存施設の減価償却費は、予測減価償却一覧表を踏襲し、新規取得施設の減価償却費は、世代間の公平な料金負担、安定的料金設定といった観点から定額法によって算定しました。

- **企業債償還元金および支払利息**

企業債償還元金および支払利息は、既存施設分に、新規取得資産に関わる企業債償還元金および支払利息を合算して算定しました。

企業債は、5年据置、30年償還としました。なお、返済利息は、最近の実績を加味し2.0%で一定としました。

- **動力費および薬品費**

動力費および薬品費は、配水量の変動に応じて増減しますので、この変動率に比例させて算定しました。

- **簡易水道事業の取り扱い**

現企業会計には竹迫・栄簡易水道事業の会計も含んでいます。

- **職員人数の見込み**

職員人数は、平成24年度以降8人(水道事業会計勘定の職員数)で横ばいとした。

5-3 財政収支の見通し

1) 資本的収入および資本的支出

平成 24 年度から平成 30 年度の中期計画において、御代志第 2 配水池整備事業，木原野配水池整備事業，弁天配水池整備事業，群配水池整備事業のほか、現在整備を進めている竹迫簡易水道再編推進事業を実施します。

特に、平成 25 年度に予定している御代志第 2 配水池整備事業に多額の投資を要しますので、平成 25 年度の資本的支出額が増大します。

資本的収支差額（マイナス 753,000 千円/年～223,000 千円/年）に関しては、内部留保資金および建設改良積立金から補てんします。

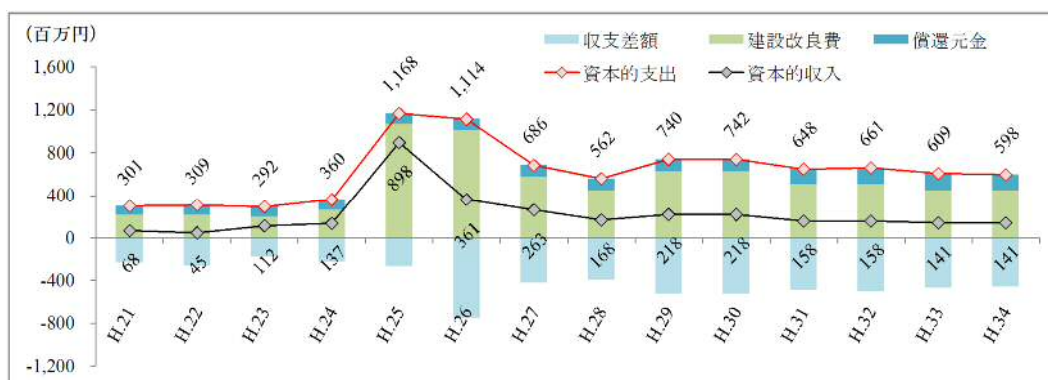


図 5-3-1 資本的収入および資本的支出の推移

2) 収益的収入

水需要（有収水量）の見込みが、概ね横ばいから減少していくと見込んでいます。そのため、給水収益が減少傾向となり、収益的収入（総収益）も減少していくと見込んでいます。

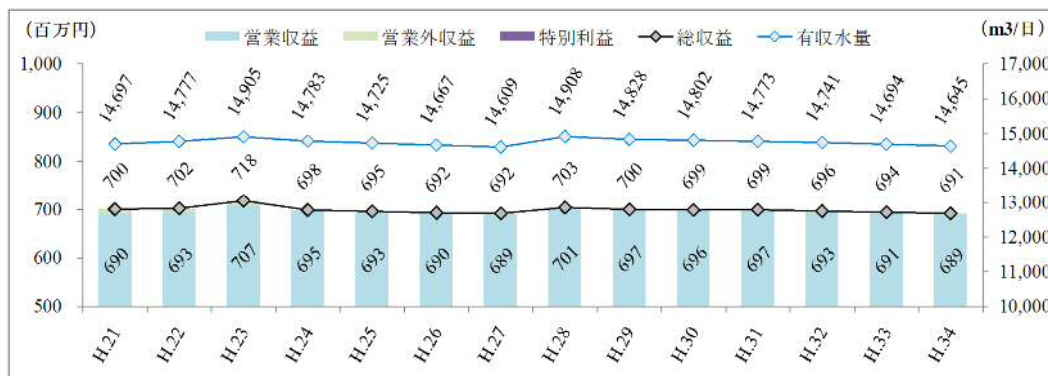


図 5-3-2 収益的収入の推移

3) 収益的支出

建設投資を続けることで、減価償却費が微増傾向となります。その他の費用については、概ね横ばいで推移すると見込んでいます。その結果、収益的支出（総費用）は微増傾向となります。

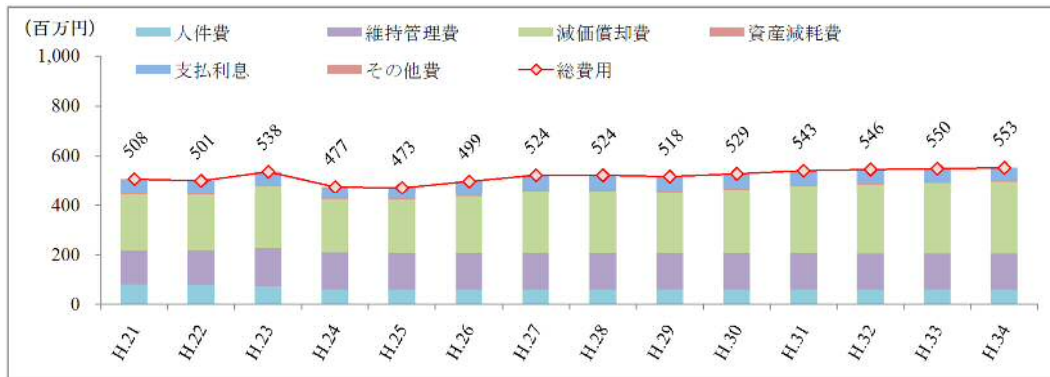


図 5-3-3 収益的支出の推移

4) 収益的収支差額の推移

収益的収入（総収入）が減少していくなか、収益的支出（総費用）が微増傾向となりますが、収益的収支差額は約 150,000 千円/年見込まれます。

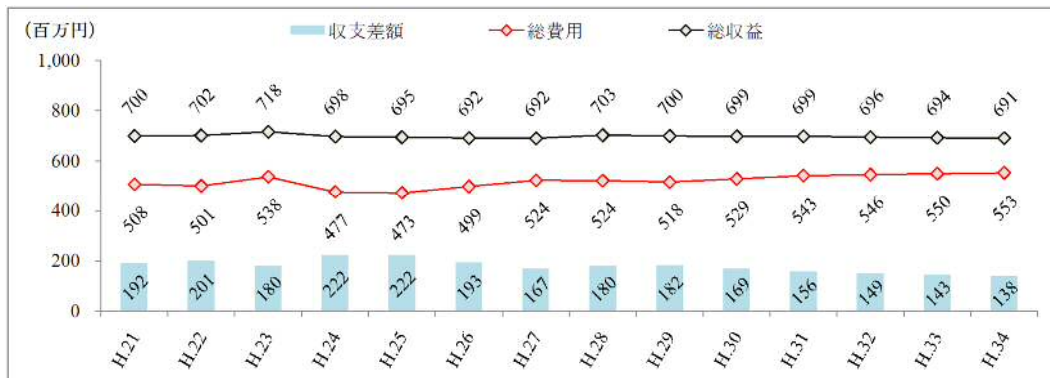


図 5-3-4 収益的収支差額の推移

5) 資金総額の推移

資本的収支差額を資金総額から補てんしますが、減価償却費が内部留保されるとともに、収益的収支差額として約 150,000 千円/年が見込まれます。そのため、資金総額は 2,238,000 千円まで増加していき、その後、微減傾向で推移すると見込んでいます。

将来の更新需要費が増大した場合には、この資金総額で対応できると考えています。

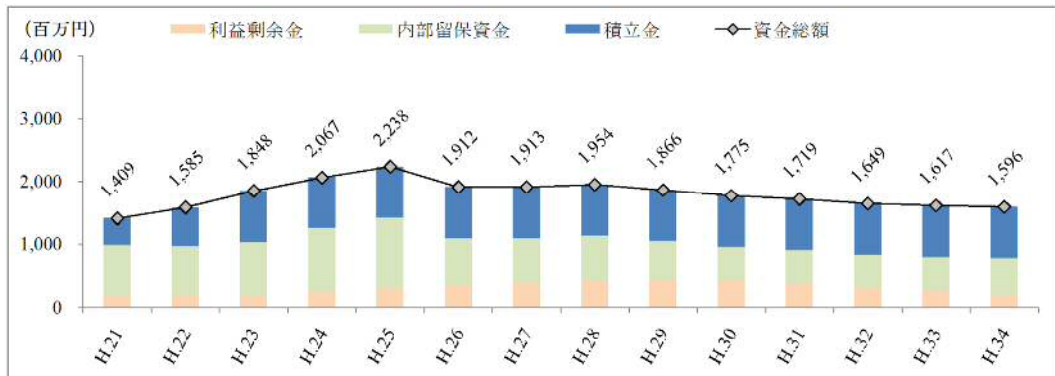


図 5-3-5 資金総額の推移

6) 企業債残高の推移

これまでは、企業債の借入を抑制することで、企業債残高を減少させてきました。しかし、中期の施設整備に伴い企業債を発行しますので、一時的に企業債残高が増加します。平成 30 年度以降は、企業債発行を抑制することで、再び企業債残高が減少傾向に転じます。



図 5-3-6 企業債残高の推移

【収益の収支計算表】

区 分	(消費税抜)														備考
	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	H 31	H 32	H 33	H 34	
水産業収益	千円	690,270	692,888	706,560	695,225	692,581	689,938	700,922	697,276	696,091	696,614	693,311	691,169	688,935	
通商業収益	千円	9,627	9,195	11,031	3,000	2,800	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	
事業特別利益	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
収益の合計	千円	699,897	702,083	717,591	698,225	695,381	692,438	703,422	699,776	698,591	699,114	695,811	693,669	691,435	上記合計
水産業費用	千円	450,418	446,662	481,204	426,819	425,631	438,816	461,547	457,140	463,149	482,946	488,809	495,031	500,375	
通商業費用	千円	57,194	54,139	50,967	47,882	45,694	58,369	60,519	58,876	58,474	57,969	55,861	53,499	50,889	
事業特別損失	千円	708	554	5,609	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	
費用の合計	千円	508,320	501,355	537,780	476,501	473,125	438,985	524,295	517,816	523,423	542,715	546,470	550,330	553,064	上記合計
収益の収支差額	千円	191,577	200,728	179,811	221,724	222,256	193,453	167,324	181,960	169,168	156,399	149,341	143,339	138,371	収入-支出

【資本の収支計算表】

区 分	(消費税込)														備考
	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	H 31	H 32	H 33	H 34	
企業債	千円	0	0	13,300	60,999	811,500	292,200	181,100	175,700	175,700	115,600	115,600	99,300	99,300	
負債金	千円	19,272	9,836	17,418	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	
補助金	千円	0	0	6,681	33,887	44,466	27,055	40,026	0	0	0	0	0	0	
資本加入金	千円	48,615	34,944	60,135	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	
資本の収入	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
資本の支出	千円	0	0	14,492	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
資本の収支差額	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
資本の合計	千円	67,887	44,780	112,026	136,886	897,966	361,255	263,126	217,700	217,700	157,600	157,600	141,300	141,300	上記合計
建設改良費	千円	212,181	216,900	196,760	262,022	1,066,283	1,009,005	577,405	626,370	626,480	508,074	508,074	450,094	450,094	
企業債償還金	千円	88,837	91,893	95,065	98,361	101,783	105,339	109,033	113,552	115,483	140,073	153,340	158,534	147,960	
資本の合計	千円	301,018	308,793	291,825	360,383	1,168,066	1,114,344	686,438	739,922	741,963	648,147	661,414	608,628	598,054	上記合計
資本の収支差額	千円	▲233,131	▲264,013	▲179,799	▲223,497	▲270,100	▲753,069	▲423,312	▲393,736	▲522,222	▲490,547	▲503,814	▲467,328	▲456,754	収入-支出
建設改良積立金	千円	0	0	0	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	
利益勘定留保資金	千円	225,342	255,348	174,672	73,497	120,100	603,089	273,312	372,222	324,263	290,547	303,814	267,323	256,754	
消費税資本の収支調整額	千円	7,789	8,665	5,127	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
補てん財源	千円	233,131	264,013	179,799	223,497	270,100	753,069	423,312	393,736	522,222	490,547	503,814	467,328	456,754	=不足額

【資金総額計算表】

区 分	H. 21	H. 22	H. 23	H. 24	H. 25	H. 26	H. 27	H. 28	H. 29	H. 30	H. 31	H. 32	H. 33	H. 34	備考
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
当年純利益	191,577	200,728	179,811	221,724	222,256	193,453	167,324	179,772	181,960	169,168	156,399	149,341	143,339	138,371	
減価償立金へ	▲ 10,000	▲ 10,000	▲ 100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
余建設改良積立金へ	▲ 179,254	▲ 181,577	▲ 100,728	▲ 150,000	▲ 150,000	▲ 150,000	▲ 150,000	▲ 150,000	▲ 150,000	▲ 200,000	▲ 200,000	▲ 200,000	▲ 200,000	▲ 200,000	
利益剰余金	182,254	191,577	200,728	179,811	251,535	323,791	367,244	384,568	414,340	446,300	415,468	371,867	321,208	264,547	
利益剰余金※	191,577	200,728	179,811	251,535	323,791	367,244	384,568	414,340	446,300	415,468	371,867	321,208	264,547	202,918 ①	上記合計
減価償立金※	30,000	40,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	
立建設改良積立金※	396,732	578,309	679,037	679,037	679,037	679,037	679,037	679,037	679,037	679,037	679,037	679,037	679,037	679,037	
積立金※	426,732	618,309	819,037	819,037	819,037	819,037	819,037	819,037	819,037	819,037	819,037	819,037	819,037	819,037	上記合計
利益剰余金※ 合計	618,309	819,037	998,848	1,070,572	1,142,828	1,186,281	1,203,605	1,233,377	1,265,337	1,234,505	1,190,904	1,140,245	1,083,584	1,021,955 ③=①+②	
損減価償却費	229,288	225,496	253,256	215,917	215,315	229,086	252,599	251,465	247,704	260,123	274,155	280,604	287,354	293,168 ④	
定資産減耗費	6,420	4,763	5,312	4,159	4,159	4,159	4,159	4,159	4,159	4,159	4,159	4,159	4,159	4,159 ⑤	
取り崩し額	▲ 225,342	▲ 255,348	▲ 174,672	▲ 73,497	▲ 120,100	▲ 603,089	▲ 273,312	▲ 243,736	▲ 372,222	▲ 324,263	▲ 290,547	▲ 303,814	▲ 267,328	▲ 256,754 ⑥	
過年度分損益勘定留保資金	780,257	790,623	765,534	849,430	996,009	1,095,383	725,539	708,985	720,873	600,514	540,533	528,300	509,250	533,435 ⑦	
損益勘定留保資金※ 合計	790,623	765,534	849,430	996,009	1,095,383	725,539	708,985	720,873	600,514	540,533	528,300	509,250	533,435	574,008 ⑧=④+⑤+⑥+⑦	
資金総額※	1,408,932	1,584,571	1,848,278	2,066,581	2,238,211	1,911,820	1,912,590	1,954,250	1,885,851	1,775,038	1,719,204	1,643,495	1,617,019	1,595,963 ③+⑧	

表中※印の費目は各年度末現在高を示す。

【業務指標値計算表】

区 分	H. 21	H. 22	H. 23	H. 24	H. 25	H. 26	H. 27	H. 28	H. 29	H. 30	H. 31	H. 32	H. 33	H. 34	備考
	円/m3	円/m3	円/m3	円/m3	円/m3	円/m3	円/m3	円/m3	円/m3	円/m3	円/m3	円/m3	円/m3	円/m3	
供給単価	124.92	124.98	124.86	124.87	124.87	124.87	124.87	124.87	124.87	124.87	124.87	124.87	124.87	124.87	
給水原価	94.63	92.85	97.55	87.98	87.69	92.87	97.72	95.90	95.34	97.66	100.04	101.23	102.27	103.13	
料金回収率	% 132.0%	% 134.6%	% 128.0%	% 141.9%	% 142.4%	% 134.5%	% 127.8%	% 130.2%	% 131.0%	% 127.9%	% 124.8%	% 123.4%	% 122.1%	% 121.1%	
営業収支比率	% 153.3%	% 155.1%	% 146.8%	% 162.9%	% 162.7%	% 157.2%	% 149.2%	% 151.9%	% 152.5%	% 148.4%	% 144.2%	% 141.8%	% 139.6%	% 137.7%	
経常収支比率	% 137.9%	% 140.2%	% 134.8%	% 147.1%	% 147.5%	% 139.3%	% 132.4%	% 134.8%	% 135.6%	% 132.4%	% 129.2%	% 127.7%	% 126.5%	% 125.4%	
総収支比率	% 137.7%	% 140.0%	% 133.4%	% 146.5%	% 147.0%	% 136.8%	% 131.9%	% 134.3%	% 135.1%	% 132.0%	% 128.8%	% 127.3%	% 126.0%	% 125.0%	
累積欠損金	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	
企業価値高※	千円 1,717,528	千円 1,625,635	千円 1,543,870	千円 1,506,508	千円 2,216,225	千円 2,403,086	千円 2,475,153	千円 2,488,082	千円 2,550,230	千円 2,610,447	千円 2,585,974	千円 2,548,234	千円 2,489,000	千円 2,440,340	
年間資本単価	円/m3 53.40	円/m3 51.85	円/m3 55.77	円/m3 48.89	円/m3 48.56	円/m3 53.70	円/m3 58.56	円/m3 57.30	円/m3 56.65	円/m3 58.97	円/m3 61.43	円/m3 62.53	円/m3 63.55	円/m3 64.36	
有収水量	m3/日 14,697	m3/日 14,777	m3/日 14,905	m3/日 14,783	m3/日 14,725	m3/日 14,667	m3/日 14,609	m3/日 14,908	m3/日 14,828	m3/日 14,802	m3/日 14,773	m3/日 14,741	m3/日 14,694	m3/日 14,645	水需要予測結果

各種計算式

供給単価：(給水収益×1,000) ÷ (有収水量×365日)

給水原価：(事業費用－特別損失－受託工事費) ×1,000 ÷ (有収水量×365日)

料金回収率：供給単価÷給水原価×100%

表中※印の費目は各年度末現在高を示す。

営業収支比率：(営業収益－受託工事収益) ÷ (営業費用－受託工事費用) ×100%

経常収支比率：(営業収益＋営業外収益) ÷ (営業費用＋営業外費用) ×100%

総収支比率：水道事業収益÷水道事業費用×100%